

ジェイアールバス東北本部

第6号

2022年9月12日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申1号「JR東労組バス東北本部第35回定期委員会の発言に関する申し入れ」について団体交渉を行う！②

4. 年を経過した転勤者を早急に元の職場に戻すこと。また、やむを得ず戻すことが出来ない場合については、当該社員に早めに説明を行うこと

(組合) 2年を経過した転勤者を早急に元の職場に戻すことは出来ないのか。2年で戻せないなら早めに会社から説明があるべきとの声も上がっている。会社の考えを明らかにすること。

(会社) 現在の要員不足の状況では難しいが、戻す方向で検討はしている。要員体制と業務量を考慮し、適切に転勤者の異動を行っている。転勤者には現状を理解してもらうよう丁寧に説明し対応していく。2年で即異動とはならないが、新規採用等を行い努力する。

5. 同業他社に比べ、休日数が少ないことから年間休日数を104日以上とすること

(組合) 要員不足で休日出勤が多くなっていることもあり、以前より休日数を増やして欲しいとの声が多く出ている。休日数を増やす考えはないのか明らかにすること。

(会社) 休日数が少ないことは認識しているが、現状の要員数で休日を増やすことにより、更に社員の皆さんに負担を強いることになる。現行通りとしたい。

6. 定期昇給が無く生活が厳しいことから契約社員の待遇を改善すること

(組合) 契約社員の待遇改善については、これまでも議論しているが、物価上昇で定期昇給の無い契約社員の生活は、ますます厳しくなる一方である。要員不足が深刻な中で、契約社員も貴重な存在であり、基本日額の改正も含め待遇の改善をするべきである。

(会社) 今年も最低賃金の引き上げにより、契約社員の基本日額を変更することになる。また、契約社員も貴重な戦力であるため待遇改善は必要だと考えており、エリア限定の社員やエルダー制度の導入などを勉強しているところであり、本社内で議論中である。

7. 給与において、保険料や年金等の控除面での差し引き間違いが多いことからチェック態勢を強化すること

(組合) 保険料や年金等の控除間違いが多く発生し、社員は不信感を持っている。チェック態勢を強化し、今後このような間違いが無いようにすること。

(会社) 保険料や年金関係は今後社労士に委託するため、これまでのような基本的な間違いは発生しないと考える。また、給与担当者を増やすとともに、データを作成した段階で各支給額・控除額をそれぞれの担当者同士がダブルチェックする

8. 人材流失防止のために職場で汗を流し、奮闘している社員が希望を持てるような将来像を示すこと

(組合) 人材流出を防ぐためには、労働条件向上の実現が不可欠であると考え、職場雰囲気や給与を良くしていくことも大切である。社員が希望を持てるような明るい将来像を示すこと。

(会社) 2022年度第1四半期決算は、営業損益では12百万円の赤字だったが、前年度同期との比較では収入が大幅に回復し、経費を業務改善等によって前年より削減した結果、約3億円の収支改善となった。コロナ禍であるが、成長が続けられる会社をつくり上げるとともに、社員と家族の幸福と労働条件向上の実現に向けて今後も努力していく。

全組合員で諸問題解決に向け議論し、安全・健康・働きがいのある職場をつくり出そう！